

1 昨年度授業改善プラン成果と課題

(1) 成果

- ・資料を比較して読み取る活動を多く取り入れることによって、資料を読み取る力を身に付けることができた児童が多かった。
- ・調べたことを白地図や新聞などにまとめる時間を設け、表現する技能を伸ばすことができた。
- ・実物教材の提示やICTの活用などの様々な手法を授業の中で取り入れたことによって、学習内容の関心・意欲を高めることができた。
- ・歴史や公民学習などにおいて、関連する人々の思いや願いを考えさせたり、その工夫をノートや新聞作りに活用させたりすることで、児童が社会的な事象とその要因を関連付けて考えることができた。
- ・NHK for school を活用することにより、興味や関心がより高まった。また、資料、インターネットを用いて調べたことを、意欲的に作品にまとめることができた。
- ・タブレットが一人一台あることで、調べたいときに調べる環境が整った。歴史的な事象に興味をもつ子は、疑問をすぐに解決することができたので、関心を広げることができた。
- ・「問題と出会う→課題の把握→調べ学習→発表→振り返り学習」の一連の授業の流れを、タブレットPCを使うことで定着することができた。同じ流れの学習を反復することで、児童が迷わず、効率的に情報を読み取り、まとめられるようになった。
- ・食料生産や情報など可能な単元では、実際に起きたことと結び付けて学習を行うことで、児童が日常生活と学習内容を結び付けて学習することができた。

(2) 課題

- ・日本の位置や、地形、海洋名などは、学習しても知識の定着が不足しているように見られた。指導の工夫が必要であると感じた。
- ・資料を読み取る力を高めるために、意図的に地図を用いたり、グラフを掲示したりするような時間を設けてきた。しかし、資料から事実を読み取ることはできても、すすんでその他の事象と比較したり、関係づけたりして、思考を広げることができる児童は少数だった。また、資料から読み取ること自体が難しい児童が一部いる。
- ・発表やレポート、新聞にまとめる際に、必要な情報を整理したり、表現したりする力が十分でない児童が一部いた。また、学習した事実を新聞やワークシートにまとめる力はあるが、その事実を踏まえて自分が考えたことを表現する力が十分でない児童がいる。語句の定義が曖昧である児童も多い。
- ・近代史において、人物中心学習でなくなった途端、知識が定着しない児童が増える。特に明治時代に起こる事象は知識量も多く、より指導の工夫を図る必要を感じた。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った。 ○…目標値と同程度。 △…目標値を下回った。

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	◎		
第5学年	◎	◎ (第4学年時)	
第6学年	◎	◎ (第5学年時)	◎ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より上回っている。知識・技能は、水準並みに身に付いている児童が多い。 ・「税金」といった、学習する際に児童の生活に深く関わりがないものの知識が比較的定着度が低い。	・目標値より上回っている。思考・判断・表現は、水準以上に身に付いている児童が多い。 ・資料の読み取りの分野の正答率が他と比較して低い。	・目標値より上回っている。主体的に学習に取り組む態度は、水準以上に身に付いている児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より上回っている。知識・技能は、水準並みに身に付いている児童が多い。 ・6年は「世界の中の国土」「情報の、5年は「自然災害からくらしを守る地震」「くらしをささえる水」「ごみのしよりと利用」の分野の知識の定着度が低い。	・目標値より上回っているが、目標値に近い。水準並みに思考・判断・表現は身に付いている児童が多い。 ・6年は資料を基に判断する分野での正答率が相対的に低い。	・目標値より上回っている。主体的に学習に取り組む態度は、身に付いている児童が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人々の工夫や先人の人たちの努力を理解させるために、体験や資料を通して実際に関係する人々に話を聞いたり、調べたりする機会を多く設ける。（指導計画・授業構成） ・まとめの活動では、知識を深めたり、日常生活と結び付けられたいできるように、資料を活用したり、新しく知った言葉を使ったりしてまとめていく。（指導計画・授業構成）	・学習したことを新聞などにまとめ、分かったことを整理したり、そこから考えられることを比較したりする活動を取り入れる。（指導計画） ・社会的な事象とその要因とを関連付けて考えられるように、文書資料や表や図、グラフの資料を読み取る活動を行い、読み取ったことをその資料と関連付けて表現する活動を行う。（指導計画・授業構成）	・学習内容の関心・意欲を高めるために、導入を工夫し、児童の生活と関連付けた学習であると認識させる。また、社会科見学の実施や実物教材の持ち込み、ICTの活用など様々な手法を授業の中で取り入れる。（指導計画・授業構成・学習環境） ・地域の安全や暮らしに関心を持ち、意欲的に活動に取り組めるよう地域の特性を生かした学習を計画し地域社会の一員として生活していることを意識させる。（指導計画）

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歴史の学習では、時代の流れを意識した学習の構成を組む。（指導計画・授業構成） ・政治や国際の単位では、グローバル化する交際社会における我が国の役割について理解できるように、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎	・グラフや年表などを活用して、課題に対して妥当な情報を捉えられるように、資料を読む時間を設けたりまとめたりする。また、捉えた内容から適切に判断できるように、それを表現したりする時間を設ける。その際、事象と要因	・学習内容の関心・意欲を高めるために、社会科見学や実物教材の持ち込み、ICTの活用などの様々な手法を授業の中で取り入れる。（指導計画・授業構成・学習環境） ・児童が主体的に学習に取り組めるように、学習問題を解決する

的な資料を提示する。(指導計画・授業構成) ・地図や写真、グラフ、ICTを用いた映像などの資料を積極的に活用した授業づくりをし、適切な情報を読み取る力を身に付けさせる。(指導計画・授業構成)	などとを関連させて考えられるようにする。(指導計画・授業構成) ・事象の特色や相互の関連・意味を多角的に考えたり、課題を把握してその解決に向けて社会の関わりを選択・判断したりし、それらを説明したり、議論したりできる機会を設定する。(指導計画・授業構成) ・社会科で使用する用語を活用し、資料から捉えた課題に対する情報や内容について、適切に表現できるようにする。その際、複数の資料を関連づけたり、事象と要因などとを関連させたりして考えられるようにする。(指導計画・授業構成)	ための計画を自分で考える場面を増やしたり、複数の資料を関連付けて、調べたいことや疑問に思ったことを整理することができるようにしたりしていく。(指導計画・授業構成) ・社会科見学や総合的な学習等の他教科との関連、実物教材の持ち込み、ICTの活用などの様々な手法を授業の中で取り入れ、社会的な事象に対する関心を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。(指導計画・授業構成・学習環境) ・学習問題や社会的な事象に対して、自分の生活と関連づけながら解決していけるようにする。(指導計画・授業構成)
--	--	---